

【芝桜の植栽をされる方へ】



■特徴

芝桜は、初夏になると地面を覆うこともあるほどの生命力が記憶に鮮明です。その力強さと、うすピンク色やうすむらさきのパステルカラーをした花とのギャップも魅力的です。

また、卒業式や入学式の時、通路を飾るために使われるおめでたい花でもあります。

芝桜は日光が大好きで、面倒な管理もなく初心者向けの花です。「なんとなく庭にスペースが空いている」「プランターで華やかな植物を育ててみたい」という方に最適です。

■栽培環境

日当たりと風通しと水はけがよい、やや乾燥した場所に向いています。肥料はさほど必要としません。高温に強いですが、湿気には弱い性質です。



■育て方

<植え付け>

植えつけの時に根をほぐしてあげると、根が眼詰まりすることなく元気に育ちます。また、広がって育つため株と株の間は10cmから15cmほど離して植えます。

<水やり>

土の表面が乾いてきたら水を与えます。水のやりすぎは根腐れのもとになるので、注意しましょう。また、夏場は日中に水やりをすると、水温が上昇し土中の温度も上昇してしまうため、朝や夕方～夜間等の涼しい時間に行いましょう。

<肥料>

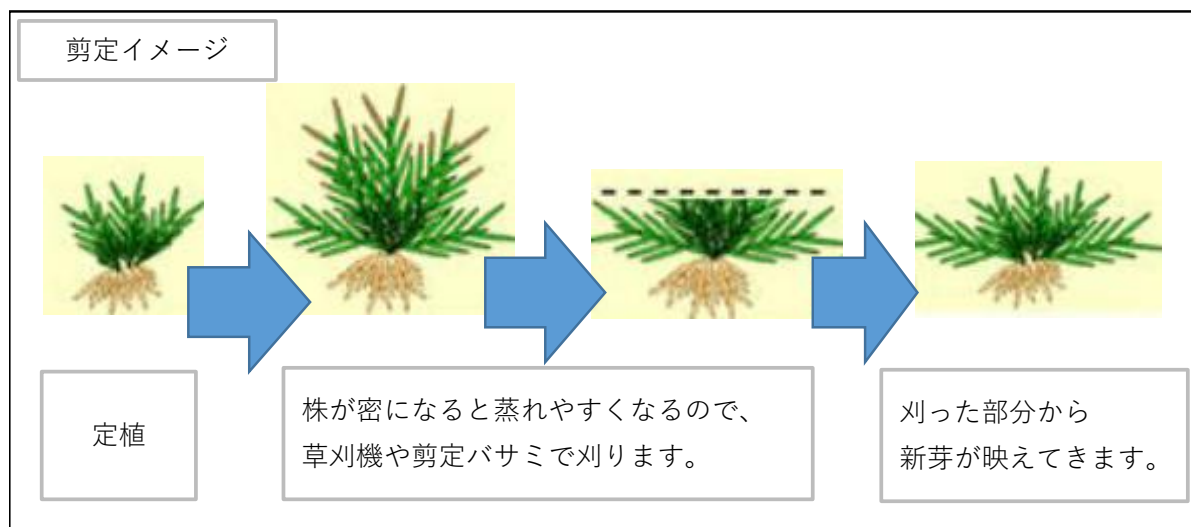
花をつける前の時期(早春)と開花後(初夏)に少量与えれば十分です。花つきが悪くなるため、窒素分の少ないものを与えます。

<開花>

3月下旬～4月に開花します。芝桜は匍匐性なので、地面一面にびっしりと咲く様子はとても美しい光景です。

<剪定・切り戻し>

開花後に株の風通しを良くするため、葉が込み合っているところを中心に刈り込みます。特に地面に近い株元の方は蒸れやすいのでチェックしましょう。乾燥に強いですが、湿気に弱いので、梅雨前に草刈機や剪定バサミで刈り込んでおきます。しばらくすると新芽が芽吹き、美しい株姿を保ちます。



<病害虫>

かかりやすい病害虫はハダニです。真夏の乾燥した条件下で発生します。時折上からざっと水をかけることでハダニの発生頻度を下げることができます。

【連絡先】

環境対策課 環境対策係

TEL 0972-22-3995